



Pharmacist Recruit Guide

平成医療福祉グループ
薬剤部 採用案内

お問い合わせ  



グループサイト
<http://www.hmw.gr.jp/>

平成医療福祉グループ 



 facebook @HMW.group

 Instagram @hmw_group

理念

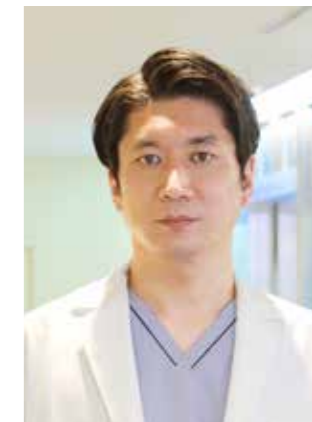
「絶対に見捨てない。」

基本方針

1. 「患者・利用者さんのため」を最優先に考え、行動する
2. 全ての患者・利用者さんに最善の医療・福祉サービスを提供する
3. 日本の医療・福祉の問題点を分析し、最適な機能を提案し実践する
4. 専門多職種による徹底したチーム医療を実践する



代表あいさつ



平成医療福祉グループ 代表

武久敬洋

Takehisa Takahiro

当グループは創業38年を経て、全国有数の規模を誇る組織になりました。しかし、サービスの質においてはまだ向上の余地があります。この先の10年はスタッフの力を集結し、全国で最も質の高いサービスを提供できる組織を目指します。

理念「絶対に見捨てない。」

本理念は創業者、武久洋三会長の言葉であり、「困っている人を見れば必ず手を差し伸べる」という、医療人に必要な姿勢を表しています。

日本ではまだ、困っている人に対して、見て見ぬふりをする人が多いように思われます。我々はこの理念を愚直に体現することで、少しでも、関わる人々が幸せになり、世の中が優しくなることを願っています。

ミッション「医療福祉のトップランナーとなり世界に貢献する」

当グループは国内最高レベルの医療福祉サービスの提供を目指すとともに、海外へのサービス展開も考えています。このミッションを実現するために、以下の4つの取り組みを重点的に進めます。

1. クライアントのQOLを最優先に考える
2. 最高のチーム医療体制の構築
3. 優秀な人材の育成
4. 世界に発信できる研究成果の創出

一緒に、より良い医療福祉を実践しましょう

当グループにはクライアントの幸せを喜び、やりがいと誇りをもって生き生きと働く仲間がそろっています。共に学び、成長できる新たな仲間をお待ちしています。

薬剤部

3つの取り組み

グループの薬剤部では、患者さんにより良い処方を提供するため、以下の3つのことに取り組んでいます。

The Approach by
Pharmaceutical
Department

2

飲みやすいお薬を 提供するために



患者さんがわかりやすく安全にお薬を服用できるよう、ほとんどの患者さんへ、服用するタイミングが同じお薬や1回に複数個服用するお薬を、1袋ずつパックにする自動錠剤包装機による一包化調剤を行っています。また、一つひとつのお薬の包装には患者さんのIDや服薬するタイミングなどの印字を施し、誤薬や飲み忘れ防止の対策に取り組んでいます。

また、錠剤などお薬の飲み込みが難しい方でも服用しやすいように、水なしでも口に入れるとすぐに溶ける口腔内崩壊錠を積極的に採用しています。経管栄養の患者さんには、お薬をお湯に溶かして、経管栄養と同じように服薬していただく、簡易懸濁法を導入しています。



病気と向き合う人のそばで、 共に歩みます

調剤・監査だけをしていれば良い薬剤師の時代は過ぎ去り、これからの薬剤師には患者さんの検査データや実際の状態から体の中で何が起きているのかを読み取って、必要な薬、不必要な薬を医師とともに考える役割が求められてきています。

薬剤部では求められる役割を果たせるようチーム医療に参加し、治療に関わっています。

大きな取り組みとして、高齢者で問題になっている多剤内服(ポリファーマシー)に対する対策を薬剤師を中心に行っています。これからの慢性期医療を支え、いつも患者さんのそばで良きパートナーとなれるよう、共に歩んでまいります。

The Approach by
Pharmaceutical
Department



多剤内服(ポリファーマシー)を なくす取り組み

たくさんの病気に対して、お薬を重ねていくうちに種類が増えてしまったり、症状がなくなっているのにお薬を続けてしまっていることがあります。また、必ずしも有害事象を引き起こすとは限りませんが、さまざまな研究で、6種類以上の内服は、薬物相互作用の頻度が高くなることがわかっています。このことから、当グループでは「足し算の処方」から「引き算の処方」へと考え方のシフトが必要と考え、6種類以上の服薬を多剤内服として定めて、積極的に服薬数を減らす取り組みをしています。もちろん治療に必要なお薬はしっかり飲んでいただけるよう、薬剤師がサポートいたします。この取り組みのためには、薬剤部だけでなく医師や看護師など、他職種にも周知し、全体で協力して取り組むことが重要と考えています。病院だけでなくグループ全体が一体となってこの取り組みを進めています。

The Approach by
Pharmaceutical
Department



3



薬剤師の一日

同じ薬剤師でも、勤務先で仕事内容が違います。
病棟勤務の薬剤師と、調剤業務を行う薬剤師、それぞれの日をご紹介します。



対談

同じ年齢で、グループに入職してきた
時期も同じ年度の二人。
仕事のことから
ライフスタイルの変化までを
徳島県にある博愛記念病院で
語り合いました。

CASE 病棟勤務の薬剤師

平成横浜病院・瀧田 大輔さん



CASE 調剤メインの薬剤師

泉佐野優人会病院・南 美登里さん



8:30
出勤し、病棟の
申し送りに参加

9:00
薬局にて朝礼
情報共有します

10:00
病棟回診へ

医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士など、他職種からの情報を集めて、患者さんにより良い医療が提供できるよう相談します。

9:30
病棟回診の準備
患者さんに長期処方されている薬があれば、積極的に医師へ相談し、多剤内服の見直しを行います。また、患者さんの検査結果を確認し、処方内容も再検討します。

11:00
患者さんの
持参薬の鑑別と
代替薬の検討

新しく入院する患者さんに初回聞き取りを行い、薬歴やアレルギーなどを確認します。入院したその日から、多剤内服対策を始めます。

12:00
昼食・休憩

13:00
薬局内での調剤や
監査業務などの
フォロー

15:00
病棟ラウンドを
実施し、服薬指導

ベッドサイドで直接患者さんに聞き取りを行います。会話のできない患者さんでも、ご家族がいる時に服薬指導を行い、情報提供をしていきます。

16:00～17:00
経過記録の入力、
病棟薬剤業務日誌
の入力

8:30
出勤して環境整備と
申し送り
急ぎの調剤業務も

10:30
病棟の回診へ参加
週1回、病棟の回診に参加します。患者さんの状態や他職種からの情報を得て、漫然と投与されているお薬がないか見直しをします。

12:00
昼食・休憩

13:00
会議・委員会活動

14:00
入院患者さんの
持参薬の検薬や調剤
新しく入院する患者さんの持参薬を検薬し、多剤内服を減らしてもらえよう医師へ提案します。その後は、翌日に使用する薬の調剤を行います。



9:30
午前中に使う点滴を
病棟へ届けます

9:50
処方監査・調剤
入院中の患者さんの処方箋を見て、併用薬との相互作用や検査結果を確認してから調剤に取り掛かります。

11:00
点滴の払い出し
回診の続き、服薬指導

持続点滴や高カロリー輸液などの注射薬を病棟へ届けます。引き続き回診に参加し、処方薬の副作用が出ていないかなどを伺って、薬の効果や注意点を指導します。

16:00～17:00
調剤・監査、服薬指導
発注業務など

内服薬の調剤・監査、入院患者さんの薬を調剤し、持参薬から当院処方へ変更になる点を説明します。その後、発注業務や、夜間に服用される薬を病棟に届けます。

多岐に渡る薬剤師の仕事と支える環境

久米 徳島まで来ていただいて、ありがとうございます。
大谷 いつもと違う環境は楽しいですよ。面と向かってお会いするのは初めてですが、同じ年齢だし、いろいろと似ていますね。
久米 びっくりしました。中途採用の年度も一緒ですね。
大谷 そうですね、家族構成まで同じで。今はどんな業務をメインにされているんですか？
久米 今は通常の業務に加えて地域包括ケア病棟も担当しているので、外来業務と病棟の薬剤業務をして、入院中の患者さんに直接服薬指導をする流れが多いですね。大谷さんは、今日みたいに出張が多いですか？
大谷 そうですね、僕はほかの病院へ応援勤務に行っていた時期もありますし、多いかもしれませんね。今って何人ぐらいの薬剤師が勤務されていますか？
久米 私を含めて10名ぐらいですね。
大谷 どの施設も10名ぐらいのスタッフが必要ですよ。最近、薬学部男女比率が半分ぐらいになってきましたけど、博愛記念病院も女性が多いんですけど？
久米 多いですね。特に子育て中のスタッフが多いです。今も3人のスタッフが託児所を使っていますし、私も2人目と3人目はこの病院の託児所を利用していました。
大谷 けっこう利用されている方が多いですね。
久米 そうなんです。3歳まで託児所が無料で使えますし、合間に子どもの様子も見れると安心ですよ。行事ごとに子ど

もたちが院内に来てくれたりして。ハロウィンには子どもたちが仮装して病院に来るんですよ。
大谷 あー、来る来る！カートに乗って「Trick or treat」って。
久米 私は子育て真っ最中のときに転職したので、あの雰囲気には癒されてましたね。
大谷 子育て中の転職って、大変だったんじゃないですか？
久米 このグループは託児所だけでなく産休・育休制度もきちんとして、心強かったですよ。
大谷 その環境は大きいですね。僕は2人目が生まれるときに1週間ぐらい休みをもらって、出産直後に家族のサポートをしました。
久米 休まれたんですか？
大谷 はい、産休・育休まではいかないんですけど、男性も休暇が取れるので助かりました。
久米 男性にとっても子育てしやすい職場ってというのは良いですね。

他職種とつながることで多角的な発想に

大谷 久米さんは、以前の職場ではどんな業務をされていたか？
久米 内服薬のみを扱ってました。なので、点滴とか注射を扱う勉強がしたくて。
大谷 あ、わかります。僕も扱う薬剤の幅を増やしたくなりましたし、ほかのコメディカルやナースの意見も知りたいなって思いました。



博愛記念病院 久米 美弥子さん
(2010 年度入職 / 徳島県出身)

久米 他職種と働くことで、発見があったり考えも増しますよね。

大谷 そうなんです、もっと深い部分を学べるようになった喜びがありましたね。

久米 働きはじめて気付いたことなんです、薬を出したあとも効果を追っていきける魅力が、自分の中ではすごく大きかったんです。同じ徳島にある江藤病院が新築移転をしたときに、院内調剤へ切り替えましたよね。外来の患者さんも薬剤師が診ていけるので、良い効果があるだろうなって思っています。

大谷 安全性も高くなりますね。新型の分包機は調剤のスピードが早いので、空いた時間を患者さんのために活用できますよね。

久米 効率が良くなることで、患者さんに還元できる時間も長く取れそうです。

大谷 これからも薬剤師が対応できる取り組みは進めていきたいですね。

「患者さんのために」が横断的に広がっていく

大谷 グループで多剤内服の対策を始めた当初、反応ってありましたか？

久米 私たちもですけど、ほかの職種のスタッフもびっくりしたと思います。でも、取り組んでみたら「こんなに必要なかったんだ」って業務の見直しが加速しました。

大谷 目に見える成果が出る前は「薬を減らす」っていうのは不安がありましたよね。

久米 病状や痛みが安定すれば、患者さん自身も「要らなかったんだ」って思ってくれますし、飲む薬が少ないこと自体が負担の軽減で喜ばれますからね。

大谷 無駄が削減できたっていう実感を僕たちと患者さん双方に持てるのは、これからの慢性期医療の課題解決につながっていきますよね。

久米 大谷さんは出張や応援に行かれる機会が多いじゃないですか、そこで自分の施設との「差」を感じることはありますか？

大谷 大きな差はないですよ。それぞれに特長っていうか工夫はありますよね。どこのスタッフもそうだと思いますけど、応援に出向いたら、自分の知らない新鮮な取り組みを見て、それを自分の病院にも取り入れてみることは結構あると思います。それが横のつながりを強くしていった実感もあります。自分の職場に持ち帰ったことで、風通しが良くなりますし。

久米 ちょうど少し前に、私も体験しました。江藤病院の応援で県外からスタッフがたくさん駆けつけてくれたんですね。そこで、業務改善のやり方とか、私たちにとっては新しい情報を知って「とりあえず試してみよう！」って盛り上がりました。

大谷 すぐに話し合える雰囲気がいいですね。全員が他施設で働ける制度は難しいですけど、区分の違う施設で普段とは違う業務に触れて成長できる、っていうのはグループの強みですよ。僕自身も、応援に行った経験はすごく為になったと思っています。

患者さんの訴えを
きちんと聞けることが
何よりも魅力的です

風通しのいい環境が
改善につながるんだと
知りました



久米 いいですね。機会があれば他府県の施設に行ってみたいです。

大切にしたい気持ちとチームの絆

大谷 グループ内でのキャリアパスというか、何か目標を立てられていますか？

久米 まだ子どもが小さいので今すぐとは言い切れませんが、やっぱり「専門薬剤師」の資格は欲しいです。

大谷 薬剤業務も細分化された専門領域が求められる時代ですから、目指したいですよ。

久米 入職した当時とは全然違って、すごくバックアップしてくれる体制が強くなったじゃないですか。同僚もそこで取得してました。

大谷 モチベーションが維持できますよね。

久米 そうですね、働きやすいから取得も目指しやすいついていう感じで。大谷さんは新しくできたチームに所属されてますよね。

大谷 はい、業務支援チーム・医薬品情報チーム・病棟業務支援チーム、リクルートチームの4つのカテゴリーがあって、僕は業務支援チームとリクルートチームに入ってます。月に一度オンライン会議があるので、各自の意見を持ち寄って情報を交換したり、積極的に活動してますよ。

久米 チーム内で「これを大切にしている」と言えることはありますか？



世田谷記念病院 大谷 一貴さん
(2010 年度入職 / 埼玉県出身)

大谷 一番は、最善を提供するために変化していくことですね。各病院の歴史や習慣も必要ですし、今のニーズにも応えるべきだと思います。

久米 患者さんと接するためには私たちが臨機応変に寄り添うべきですよね。大谷さん自身としてはありますか？

大谷 業務支援チームっていう部分だけで言うと、相談できたり何でも話せる雰囲気を持っていたり、フットワークが軽いことも大切かもしれません。スタッフ同士の絆も深まりやすいですからね。

久米 たくさん施設があるので、活発なことは大切ですよ。勤務中じゃなくてもいろいろなスタッフと交流してほしいですし、部署を超えたつながりも必要ですもんね。

大谷 他職種と関わる時間は貴重ですね。

久米 コロナ禍でグループのイベントは開催を見合わせているものが多いですが、オンラインなども活用して、これからも交流の機会は作っていききたいですよ。

大谷 ほかの施設と交流できる時間があれば自然に今までよりも距離が近くなったり雰囲気も良くなりますし、「本当に長く働けそう」という印象に変えていきたいです。

久米 そうですね。いいな、って思えるポイントが多い職場になりたいですね。

大谷 そこに共感してくれる人と働きたいですね。変わろうとしている姿勢や取り組みも知ってもらえるように、僕たちも発信していきたいですね。



Group LIST

当グループは、東京・大阪をはじめ全国に病院・施設・学校を開設・運営しています。治療を終えた患者さん・利用者さんを早期に受け入れ、積極的な治療とリハビリテーションを行い、短期間で在宅復帰を目指します。今後は、世界にグループの医療を広めることを目的に海外事業も展開。第一弾として、インドネシアにクリニックを開設する予定です。

| | | | |
|----------|----|--------|----|
| 病院 | 26 | 特養 | 27 |
| 老健 | 11 | 介護医療院 | 2 |
| グループホーム | 9 | ケアハウス | 5 |
| 有料老人ホーム | 12 | 小規模多機能 | 3 |
| 訪問サービス | 12 | 通所サービス | 7 |
| 居宅支援サービス | 3 | 障害福祉施設 | 7 |
| クリニック | 2 | 学校 | 3 |

※開設予定も含む / 2022年3月現在

くわしくはこちら

平成医療福祉グループ



千葉県

- 印西総合病院
- ケアホーム船橋
- 訪問ステーションてととと印西
- 印西居宅介護支援センター

神奈川県

- 平成横浜病院
- ケアホーム三浦
- ヴィラ南本宿
- ヴィラ横浜
- ヴィラ桜ヶ丘
- ヴィラ神奈川
- ヴィラ都筑
- ヴィラ泉
- ケアホーム横浜
- 訪問ステーションてととと戸塚

東京都

- 世田谷記念病院
- 大内病院
- 多摩川病院
- 平成扇病院
- 緑成会病院
- 緑成会整育園
- ケアホーム足立
- 藤香苑
- ケアホーム千鳥
- ヴィラ町田
- ケアホーム板橋
- ケアホーム葛飾
- ケアホーム花畑
- ケアホーム練馬
- グループホームこもれび
- グループホームかりん
- 訪問ステーションてととと大岡山
- 訪問ステーションてとと小平
- サポートハウスココロネ板橋
- OUCHI CAFE・KITCHEN
- 聖和看護専門学校

大阪府

- 豊中平成病院
- 弥刀中央病院

- 泉佐野優人会病院
- 平成記念病院
- 淀川平成病院
- 堺平成病院
- 岸和田平成病院
- 淀川暖気の苑
- 離宮千里山
- ケアホーム豊中
- 弥刀介護老人保健施設
- エスペランサ
- レジデント豊中
- レジデント泉佐野
- メディケアハウス春木
- 優人会小規模多機能センター
- ハート訪問看護ステーション
- 訪問ステーションてととと東大阪
- 訪問ステーションてととと泉佐野
- 中央デイサービスセンター
- だんけのそのポレポレクラブ
- 海萌
- PALETTE
- おうち診療所堺

三重県

- ヴィラ四日市
- 富洲原複合型サービスセンター

和歌山県

- 緑風苑

兵庫県

- 平成病院
- 東浦平成病院
- 西宮回生病院
- 大原病院
- 南淡路病院
- 神戸平成病院
- ケアホーム住吉
- ヴィラ播磨
- ヴィラ一宮
- かおりの丘
- ケアホーム東浦
- ケアホーム南淡路
- ふるさとの家
- ヴィラ光陽

- 平成病院 平成介護医療院
- 東浦介護医療院
- グループホーム北淡
- ケアハウス有馬ホロンの苑
- ケアハウス淡路エルベ
- ケアハウス東浦エルベ
- レジデント東浦
- レジデント南淡路
- 訪問ステーションてととと洲本
- ココロネ淡路
- サポートハウスココロネ住吉
- 平成淡路看護専門学校
- 平成リハビリテーション専門学校

徳島県

- 博愛記念病院
- 徳島平成病院
- 江藤病院
- 浜病院
- ヴィラ羽ノ浦
- ヴィラ勝占
- ケアホーム鷲敷
- 平成アメニティ
- 明和苑
- グループホームはまど
- ケアハウスエルベ
- 岬ハウス
- レジデント勝占
- レジデント木津
- レジデント渭北
- メディケアハウス平成
- 有料老人ホーム蘭方
- 八万小規模多機能センター
- 南部訪問看護ステーション
- 平成ヘルパスステーション
- 訪問ステーションてととと徳島
- 平成デイサービスセンター鳴門
- デイサービスしおかぜ
- 那賀町鷲敷デイサービスセンター
- 平成デイサービスセンター渭北
- 平成在宅介護支援センター

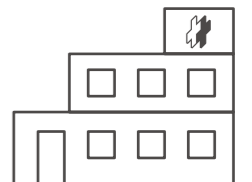
山口県

- 山口平成病院
- ヴィラ本郷

- ケアホーム山口
- へいせいホーム
- グループホーム本郷
- グループホームだんけぐーと
- グループホームだんけぐーと有延
- ケアハウス山口エルベ
- レジデント山口
- 平成小規模多機能センター
- 訪問ステーションてととと岩国
- 平成デイサービスセンター平田
- 平成デイサービスセンター黒磯
- 岩国市岩国第三地域包括支援センター

海外（インドネシア）

- HMW Rehabilitation Clinic



Career Interview

グループの病院は全国に展開しています。それぞれの病院でより良い医療を提供するため、関東、大阪、兵庫、淡路、徳島・山口のエリアごとにリーダーを立て、各地域でさまざまな取り組みを行っています。

平成という時を超えて令和へ。 時代に求められる臨床薬剤師に

私が平成医療福祉グループという船に乗ってから、平成から令和へと、新たな時代に移りました。この一巡りの間にも薬剤師を取り巻く世界は大きく変化しました。

薬学部教育は4年から6年制になりました。

一包化は機械が行ってくれるようになりました。

医学辞書は電子端末で見られるようになりました。

多剤内服は当たり前に対策されるようになりました。

それでも、薬のことを一番知っているのはいつの時代も薬剤師です。医師は多くの業務に追われ、多剤内服や検査値を細かく見直す時間はなかなかありません。AIも身近になりましたが、患者さんとお話をして心不安を取り除くことはまだできませんし、医学辞書の膨大なデータも、医師や看護師、栄養士、療法士と連携することはできません。これは私たち病院の臨床薬剤師だからこそ、チーム医療の中でなせる業です。診療（調剤）報酬改訂をめぐる厳しい風も吹いていますが、薬剤師にとって転換の機会でもあります。一緒に新しい時代に求められる薬剤師を目指しましょう。

部門長
秋田 美樹 Akita Miki



関東エリアリーダー
大谷 一貴 Ohya Kazuki

自身が進歩し続けられる仕事を

世田谷記念病院を中心に関東の病院で勤務しています。少し変わった働き方ですが、それぞれの病院の良い部分を吸収し、自身のスキルアップにつなげることで患者さんや病院への貢献につながると信じています。初心を忘れず、型にはまらず、常に進歩し続けることを心がけながら地域の医療に貢献したいと考えています。また、仕事をするうえで、プライベートを充実させることやモチベーションを高めることも大切なことだと思います。自然と笑顔になれるような、楽しく働きやすい職場を作っていくことを目標に日々取り組んでいます。ぜひ一緒に働いてみませんか？



関東エリアリーダー
瀧田 大輔 Takita Daisuke

転職して新しい視点を持ちました

病院に必要とされる薬剤師を目指し、大学卒業後は急性期病院で働き、約2年間でさまざまな実践力を身につけました。違った視点で働いてみたいと思うようになり、緑成会病院に入職することとなりました。緑成会病院では、患者さんを中心とした多職種によるチーム医療が日々行われていることに、衝撃を受けました。患者さんにとってベストな処方提案ができる「頼れる薬剤師」を増やすこと・慢性期病院にとって必要な病棟薬剤業務の整備をすることの2点を重点的に行い、薬剤部の成長につなげていきたいと思っています。



薬学部
6年制卒
第1号!

関東エリアの取り組み

東京、神奈川、千葉に全部で8カ所の病院があります。主に慢性期医療を担っていますが、中には急性期一般病棟や精神科病棟などの機能を持つ病院もあり、それぞれの機能に合わせた薬剤業務を展開しています。関東ではグループ病院が比較的近くに位置しているので、

互いに助け合える環境づくりを目指しています。それぞれの病院の良い部分を積極的に取り入れ、患者さんのためにできる薬剤業務に全力で取り組んでいます。特に病棟薬剤業務の充実化やポリファーマシー対策、薬剤師の育成・スキルアップに力を入れています。

大阪エリアの取り組み

どの病院も在宅復帰を考慮したポリファーマシー対策に特に力を入れており、入院から退院後までの服用状況を把握し、患者さんの病状に合った処方提案を医師に行っています。当グループは、薬剤師の意見に医師が耳を傾ける環境があり、私たちも医師に提案できる知識を持てるよう、自己研鑽を続けています。また、2020年3月には淀川平成病院が大阪市淀川区に開院しました。地域多機能型

病院で、患者さんの身近な存在になれるように取り組んでいます。大阪エリアの薬剤師には助け合いの気風があり、業務内容の共有や意見交換も盛んです。常勤・非常勤や勤続年数に関わらず、多くの薬剤師が活躍しています。「薬のことは薬剤師に任せて!」という気持ちで、これからも未来の薬剤師が育つ環境づくりに力を入れていきます。

関西エリアリーダー
南 美登里 Minami Midori

これからの薬剤師のために

関西エリアのエリアリーダーをさせていただいています。普段からいろいろな病院を訪問し、その病院の機能や人員配置、業務内容など、さまざまな悩みを聞いています。そんな機会に恵まれて、いろんな人の意見に耳を傾けるようになりました。自身の病院では、患者さんが在宅へ戻られた後の生活を考えた、ポリファーマシー対策に意欲的に取り組んでいます。今後は、もっと若い世代の薬剤師さんが育っていける環境作りをモットーに、全国各地を飛び回る所存です。誰とも分け隔てなく本音トークさせていただきます。



大阪エリアリーダー
大畑 優子 Oohata Yuko

薬剤師として、勉強の毎日です

薬剤師になって20年以上経ちましたが、臨床現場が楽しくて、呼ばれなくても病棟へ出かけています。「目の前の患者さんがどうしたら家に帰れるか。薬剤がその手助けにならないか」と考え、エビデンスを探す毎日です。学会に出かけたり、自身も学会に出たりと、一児の母であることを忘れてしまいそうな日々を送っています。それもこれも、職場のみなさんの協力や助けがあつての自分だと深く感謝しています。そしてこれからも、どの患者さんにも、薬剤師として手を差し伸べ続けられるよう、いくつになっても勉強を続けていきたいと考えています。



兵庫エリアの取り組み

兵庫エリアのグループ病院の各薬剤師は、病院の特色に合わせて、チーム医療の一員として活躍しています。西宮回生病院では、回復期リハビリテーション病棟および小児科を含む一般病棟において、神戸平成病院では急性期病院と連携した一般病棟・地域包括ケア病棟および回復期リハビリテーション病棟において、大原病院では医療療養病棟において、薬剤師としての職能・専門性を発揮。西宮回生病院と神戸平成病院では病棟薬剤業務も実施しています。また、サポートハウスココロネ住吉では、知的障がいおよび重度の肢体不自由のある方の療育生活をサポート。今後さらに各病院で薬剤師の専門性を高めて薬剤業務を充実し、慢性期医療に貢献してまいります。

兵庫エリアリーダー
中晴 徹 Nakaharu Toru

慢性期医療の薬剤師として

急性期病院で16年勤務した後、当グループに入職しました。急性期病院ではスペシャリストな薬剤師の機能を発揮する面が多かったのですが、慢性期病院ではさまざまな疾患・薬物治療にも対応できるジェネラリストな面が多く求められます。医師や医療スタッフ、患者さんに信頼される薬剤師であるために、日々の勉強を欠かさず、業務の中から薬剤師の可能性を見つけ、実現していきたいです。



淡路エリアの取り組み

淡路エリアには、東浦平成病院、平成病院、南淡路病院の3病院があります。外来診療科・入院病床機能はそれぞれの病院によって地域に合わせた特性があり「地域に必要とされる医療の提供」を目指しています。そのなかで薬剤師は、患者さんにとって安全で効果的な薬物治療が行えるように、ポリファーマシー対策や処方監査、服薬管理、抗菌薬の適正使用等について多職種とも協力しながら取り組んでいます。学生実習も受け入れ、共に学び、意識・知識の向上にもつながっています。地域の方々に、この病院があつて良かったと思っていただけよう、日々みんなががんばっています。

淡路エリアリーダー
坂東 理江 Bandou Rie

求められる薬剤師でいるために

地元の東浦平成病院には開院時に入職しました。働く環境も大切ですが、重要なのは自分自身がどんな姿勢で働くかだと思っています。振り返ると、どんな経験も何かに役立っていると感じています。今後も、その時々で必要な医療についての知識をみんなと学び、意見を交換し合い、患者さんに最善の治療が行えるよう、多職種で協力していきたいと思っています。



徳島・山口エリアの 取り組み

徳島・山口エリアには博愛記念病院、江藤病院、徳島平成病院、浜病院、山口平成病院があります。2017年、江藤病院は新築移転し、外来患者さんの院内調剤を開始しました。費用削減や病院で薬をもらうという利便性の向上だけでなく、薬剤師が直接患者さんに薬の説明ができるので大変喜ばれています。山口平

成病院では周辺の施設と連携し、地域に根ざした医療を提供しています。患者さんに、より良い医療を提供するために、エリアの薬剤師が協力し合い、他職種合同のカンファレンスに積極的に参加するなど、チーム医療の一員として活躍しています。

徳島・山口エリアリーダー
大和 薫 Yamato Kaoru

患者さんから頼られる薬剤師に

これからの時代の薬剤師は、調剤室にいただけではなく、検査値なども理解し、患者さんに寄り添うことができる臨床薬剤師でなければなりません。入院患者さんだけでなく、外来や在宅の患者さんとも積極的に向き合い、患者さんから何でも話しかけてもらえるような臨床薬剤師として、新入職員のみなさんが開花できるように、サポートをしていきたいと思っています。



徳島・山口エリアリーダー
梅井 康宏 Umei Yasuhiro

薬剤師も考える葦になる

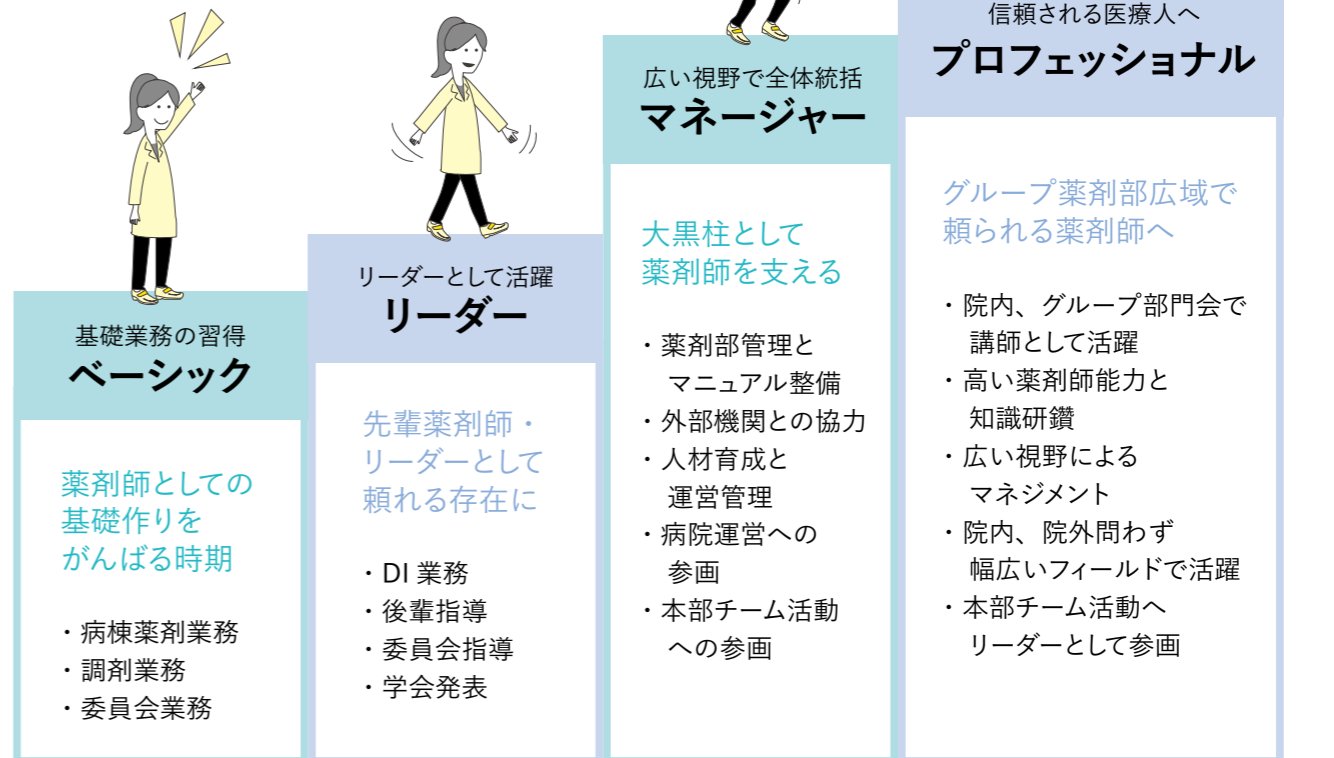
大学を卒業して平成医療福祉グループに入職し、尊敬できる医師や先輩薬剤師に出会うことができました。薬剤師は処方せん通りに調剤するイメージがありますが、本当に最適な薬剤を提供するためには、患者さん・医療スタッフと共同して考え、処方提案することが求められています。これを実現するために「自己研鑽」・「多職種連携」・「考えることを諦めない」をモットーに仕事に取り組んでいます。



キャリアアップについて

当グループの薬剤師のステップアップコースです。経験年数に伴った技術を身につけ、頼れるリーダーになれるよう、部門全体でバックアップします。

ステップアップ モデルコース



経験目安

3年

5年

10年

15年

さらなるキャリアアップのために

認定薬剤師・専門薬剤師の 取得を推奨しています

日本には各薬剤師団が発行する認定薬剤師・専門薬剤師制度があります。当グループの薬剤部では、薬剤師に資格取得をバックアップするため、院内での勉強会の開催*や、指定の資格を取得済の薬剤師には手当を支給するなど、サポートを行っています。（現在は情勢を考慮し、オンラインで実施）

*グループ研修として要申請。



就職に関するQ&A

question 1 病棟での業務は行っていますか？

answer } 薬剤師としてチーム医療に参加することを目標にしており、回診などへの参加も積極的に行っています。各病院で取り組み内容や活動状況は異なりますが、将来的にはすべての病院で病棟業務が実施できるようにスタッフの増員と環境の整備を推進しています。また調剤業務・病棟業務などを約1年間で習得することができる新人教育マニュアルを新たに作成し、運用開始予定です。

question 2 学会参加や勉強会参加への補助制度はありますか？

answer } グループや薬剤部門が奨励している、もしくは業務指示として参加をお願いする学会については、参加費・交通費・宿泊費などすべて病院負担で参加できます。個人的に参加したい勉強会等におきましては、申請を提出したうえで参加費を全額補助いたします。

question 3 勉強会は開催していますか？

answer } 年に3~4回、関西・関東で薬剤部門の部門研修会を開催しています。そのほか、診療報酬の変更、採用薬の変更、医薬品の適正使用推進のための勉強会も随時開催しています。また、各病院で製薬会社による勉強会も行っています。

question 4 休みはどのように設定されますか？

answer } 月毎に公休の数が決まっております。ほとんどの病院でシフト制をとっているため、日曜や祝日が必ずしも休みにはなりません。ただし、月に数日は希望した日にお休みが取れるようになっています。また、夏休みが3日間・冬休みが3日間あります。加えて、有給休暇の取得も可能です。

question 5 子育て中でも働きたいのですが、託児所はありますか？

answer } グループ内のほとんどの病院に、職員専用の無料託児所があります。日曜祝日、夜間の利用可能な病院により条件が異なりますので、詳細はお電話やメールでお問い合わせください。

question 6 職員寮はありますか？ また、ある場合は利用できますか？

answer } 職員寮の有無は病院によって異なります。利用に関する条件も各々異なりますので、入職を希望する病院がございましたら、メールやお電話でお問い合わせください。ご相談させていただきます。

question 7 全国展開している医療福祉グループということですが、グループ内での転勤などはありますか？

answer } 基本的に転勤はありません。新入職の際はグループ病院でさまざまな診療科を有している強みを生かして研修に行っていただけます。また、所属する病院のエリア内で週数回程度の応援勤務や、エリア外で宿泊を伴う数カ月単位の出向勤務をしていただくことがあります。基本的には採用された病院での所属となるため、元の勤務地へ戻ることが前提です。小さなお子さんがいる方など、家庭環境を考慮したうえでお願いする形になります。全国展開の強みとして、諸事情（結婚など）で県外へ行くといった場合でも、引っ越し先付近に関連病院があれば、そちらへ転籍することも可能です。

福利厚生など

休日・休暇

4週8休・夏季休暇3日・冬季休暇3日（年間休日110日）、有給休暇：初年度10日（最高20日）、慶弔休暇・産前産後休暇・育児休暇・介護休暇

待遇

退職金制度有（勤続3年以上）、賞与（年2回）、給与見直し（年1回）、役職手当、皆勤手当、時間外手当、通勤手当支給（規定あり）

福利厚生

各種保険完備（健康・厚生・雇用・労災）、職員食堂（管理栄養士監修）完備、福利厚生サービス「福利厚生倶楽部」（宿泊施設・スポーツ施設・リラクゼーション施設等の利用時優待）、契約保養所（エクシブ）、無料託児所（施設による）、送迎バス（施設による）、マイカー通勤可（施設による）

支援プログラム

グループ学会参加可、各種研修会、外部研修費用全額補助（規定あり）

※ 病院・施設により規定内容が異なる場合や、利用できないものもあります。また、職種により待遇内容が異なる場合があります。なお、内容は規定改変により変更されることがあります。くわしい内容は各施設にお問い合わせください。